

2020日本語教育学会秋季大会チャレンジ支援企画



ぷらさ da わかば 「わかばさん」 募集



「ぷらさ da わかば」とは？

- 日本語教育の世界で皆さんの少し先を歩いている「センパイ」とぷらさ（広場：今年はオンライン！）で出会い、1対1～3人で話すことができます。
- 研究や実践の話、キャリアの相談、センパイの経験談などなど、自由に対話してください。

大会二日目11月29日（日）12：30～13：30

於：オンライン（ZOOMブレイクアウトルーム）

【申し込み方法】

以下のアドレスまたはQRコードから申込フォームにアクセス・記入・送信して下さい。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeDKWo1pJzdVqy-soW53rQyNNeqmui_HwxCHeFIU5s0Ie1g/viewform?usp=sf_link

応募締め切り：11月15日（但し、定員になり次第締切）

- ※ 秋季大会参加申し込み（支払含む）をされた方が対象です。
- ※ 定員最大21名（応募者が多い場合は先着順となります。）
- ※ わかばさん参加者決定後、参加URLをお知らせします。（大会1週間前ごろ、お知らせできる予定です。）

- * 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみいたい方など（非会員の方も大歓迎！）

■センパイの詳細は、次ページをご覧ください！





2020秋「ぶらさ da わかば」センパイリスト



お名前 ご所属 (専門分野)	わかばさんへ一言
石橋玲子 元昭和女子大学大学院 (言語習得・発達)	研究での問題点を一緒に考えましょう。研究は先行研究を読み、研究課題を明確にすること、課題解明の適切な方法論、結果の分析、考察が重要です。研究で困難に感じていることの解決に向けてお手伝いができたらと思っています。
磯野英治 名古屋商科大学 (教材開発)	日本語学校・国内外の大学など様々な現場で日本語教育に関わってきました。現在は、言語景観や日本語の会話の語用論的特徴を対象に、基礎的研究と実践的なカリキュラム・教材開発を行っています。
内海陽子 海外産業人材育成協会 (教材開発)	大学卒業後、会社員生活を経て研究生になり、大学院入学。日本語学校、専門学校、大学、外国人就労研修などで日本語教育に関わってきました。現在は、技術研修生や産業人材向けの教材開発・カリキュラム開発に携わっています。
門脇薫 摂南大学 (教師養成・研修)	これまで、AOTSで技術研修生に教え『新日本語の基礎』関連の教材作成をしていました。台湾YMCA、韓国(国際交流基金派遣)、留学生センター勤務を経て今は日本語教員の養成をしています。様々な機関での教育経験、海外での調査研究等お話しできます。
長友文子 和歌山大学 (日本語教育学、教材開発)	日本語を教える・支援するとはどういうことでしょうか。留学生だけでなく、日本語を学ぶ様々な人々の多様なニーズに応えるために、私たちがしなければならないこと、できることについて一緒に考えたいと思います。
西口光一 大阪大学 国際教育交流センター (言語哲学)	専門分野は、第二言語教育のためのことば学と日本語教育学です。ことば学をがっつりと探求し、日本語教育を根底から問い直し、大胆に改革しようという心意気のわかばさん、お待ちしております。
福永由佳 国立国語研究所 (日本語教育学)	日本社会の一員である外国人と共生するための日本語教育について取り組んでいます。社会参加、生活のための日本語、多言語使用などに興味のある方や調査に悩んでいる方の力になれば幸いです。



最新情報は、日本語教育学会ウェブサイト(左QRコード)、twitter (@NKGkouhou)、Facebookで!

